



Ainu Museums in Hokkaido

厳寒の大地に受け継がれた
固有のアイヌ文化を知る。

道北エリア

22 川村カ子トアイヌ記念館

旭川市



アイヌの旧家・川村家が、アイヌ民族の文化の正しい伝承を目的として1916年に開館した日本最古のアイヌ資料館。アイヌの文化や習慣を伝える生活用品など、貴重な資料が数多く展示されているほか、アイヌ文化を体験できる講習プログラムも人気です。

時間(最終入場)	9:00~17:00
休館日(2025年度)	無休、12月から4月までは火曜日休館
アクセス	JR「旭川駅」よりバスで「アイヌ記念館前」下車、徒歩すぐ
料金	一般800円、大学生600円、中高校生500円、小学生300円【団体】(20名以上) 大人600円、大学生500円、中高校生350円、小学生250円
団体の受入	20名以上(要事前申請)
ご利用 申込方法	電話、FAX
駐車場	あり
見学時間	約60分
写真・動画撮影	商用目的でなければ撮影は可能
バリアフリー	
館内情報	

住所 〒070-0825 旭川市北門町11丁目
TEL 0166-51-2461
URL <http://k-aynu-mh.jp/index.html>

体験プログラム

- ・舞踊体験/2,000円
- ・アイヌ文様切り紙体験/2,000円
- ・ムックル製作体験/3,000円
- ・ムックル演奏体験/3,000円
- ・アイヌ刺繍体験/4,000円

23 旭川市博物館

旭川市



「アイヌの歴史と文化に出会う」をテーマに、旭川市をはじめとした北北海道の歴史や文化、自然にかかわる資料を数多く展示。

時間(最終入場)	9:00~17:00【最終】16:30
休館日(2025年度)	10~5月の毎月第2・4月曜(月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日)、年末年始及び施設点検日
アクセス	JR「旭川駅」より徒歩約10分
料金	一般350円、高校生230円、中学生以下は無料【団体】(20名以上) 一般280円、高校生180円、学校引率教員は免除 ※一般団体は引率する団体員数の1割まで免除
団体の受入	可能(要事前申請)
ご利用 申込方法	博物館まで連絡の上、団体見学申込書に必要事項を記入してご提出ください
駐車場	普通車/400台※駐車無料
見学時間	約30分以上
写真・動画撮影	写真撮影可(フラッシュ禁止)、動画は事前に相談
バリアフリー	館内エレベーター、車椅子2台
館内情報	

住所 〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目(大雪クリスタルホール内)
TEL 0166-69-2004
URL <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hakubutukan/index.html>

体験プログラム

体験学習：アイヌ文様コースター製作(一部有料)
アイヌ文様しおり製作(2025年4月1日より一部有料)
案内解説：アイヌの暮らし解説
(内容は年度ごとに変更となる場合があります)

見学時に説明を要する場合や、体験学習をご希望の場合は要事前相談となります。お電話でのお問い合わせは午後5時15分まで。常設展示室見学と団体体験学習を合わせたお申し込みのみとなります。(最低でも80分以上)

24 北国博物館

名寄市



「冬・雪・寒さ」を常設展のテーマに、寒冷多雪な北国の冬の生活文化の展示と厳寒期に見られる冬の自然現象などについて展示しています。「カムイの森」コーナーでは、冬の森を通してみたアイヌの自然と文化について紹介しています。

住所 〒096-0063 名寄市宇緑丘222

TEL 01654-3-2575

URL <http://www.city.nayoro.lg.jp/section/museum/>

体験プログラム

常設展示室の他に、昔の道具類を保管している収蔵庫を見学することができます。

見学時の説明や、収蔵庫の見学を希望する場合は事前にご相談ください。

時間(最終入場)	9:00~17:00【最終】16:30
休館日(2025年度)	月曜、12月29日~1月3日
アクセス	JR「名寄駅」より徒歩約20分
料金	一般220円、65歳以上110円、高校生以下は無料【団体】(10名以上)1人152円、引率者も見学する場合、団体の人数に加え
団体の受入	10名以上(要事前申請)
ご利用申込方法	電話、メール
駐車場	普通車/30台
見学時間	約60分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	対応

館内情報



25 士別市立博物館

士別市



郷土の歴史・自然・文化芸術を展示する総合博物館です。展示の中には天塩川流域のアイヌ民族に関する資料も展示しています。

住所 〒095-0056 士別市西士別町2554

TEL 0165-22-3320

URL https://www.city.shibetsu.lg.jp/gyoseisaito/kosodate_bunka_supotsu/shibetsushiritsuakubutsukan/index.html

体験プログラム

アンモナイトのレプリカづくり、石磨き体験、士別の野鳥のお話し&バードコールづくり、石器づくり等(一部有料。詳細は、士別市立博物館HP「出前講座」をご覧ください。)

ガイドは博物館学芸員がご案内します。
※事前にご連絡をお願いいたします。

時間(最終入場)	9:30~16:30(10月~3月は10:00~16:30)【最終】16:30(最長17:00まで)
休館日(2025年度)	月曜・火曜、年末年始(12月29日~1月3日)1月20日~2月末までの平日(土日祝日は開館)
アクセス	道央自動車道「士別剱淵IC(出口)」より約10分、宗谷本線JR「士別駅」より車(バス)で約5分、または徒歩30分
料金	一般100円、高校生100円、中学生以下は無料【団体】(20名以上)80円、引率者80円
団体の受入	20名(要事前申請)
ご利用申込方法	電話
駐車場	普通車/20台、大型車/5台 ※兼用
見学時間	約60分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	身障者用駐車場あり、車椅子での入館可、多目的トイレ、階段昇降機、車椅子あり

館内情報



26 稚内市北方記念館

稚内市



稚内市の開基100年目にあたる1978年7月、稚内公園の丘陵上に建設された「開基百年記念塔」の1~2階部分にあたるのが「北方記念館」です。稚内市や樺太などの郷土資料や、間宮林蔵の足跡をたどる資料、アイヌ民族に関する資料などが展示されています。

住所 〒097-0000 稚内市ヤムワッカナイ

TEL 0162-24-4019

URL <https://w-shinko.co.jp/hoppo-kinenkan/>

時間(最終入場)	4月・5月・10月/9:00~17:00、6月~9月/9:00~21:00【最終】閉館時間20分前まで
休館日(2025年度)	月曜※6月1日~9月30日は無休
アクセス	JR「稚内駅」「稚内フェリーターミナル」より車で約10分
料金	一般400円、高校生400円、中学生以下200円【団体】(20名以上)320円、中学生以下160円※学校・教育機関を対象にした入館料の減免措置あり
団体の受入	可能(20名以上、要事前申請)
ご利用申込方法	電話
駐車場	大型車/2台
見学時間	約30分
写真・動画撮影	私的使用以外の場合は、事前にお問い合わせください
バリアフリー	1階および展望室は可能(2階は階段のため不可)

館内情報



ガイドをご希望される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

27 オホーツクミュージアムえさし

枝幸町



オホーツク海と枝幸町に関する様々な資料を展示。中でも、古代オホーツク海を舞台に花開いた先史海洋狩猟民文化「オホーツク文化」については、原寸大で復元した竪穴式住居や、金で飾られた刀などの貴重な資料によって、分かりやすく展示しています。

住所 〒098-5823 枝幸町三笠町1614-1
TEL 0163-62-1231
URL <https://www.esashi.jp/tourism/guide/museum.html>

体験プログラム

- ・昔の暮らし ・枝幸の歴史 ・勾玉作り教室 ・オホーツク文化体験
- ・化石レプリカ作り教室 ・アイヌ文化学習 ・地質学習 ・自然観察会
- ・バードコール作り教室 ・バードカービング教室 など

時間(最終入場)	9:00~17:00【最終】16:55
休館日(2025年度)	月曜・毎月最終週の火曜(祝日の場合は翌平日が休館)、年末年始(12月30日~1月4日)
アクセス	「枝幸ターミナル(バス)」より車で約5分
料金	無料
団体の受入	可能(要事前申請)
ご利用申込方法	電話、メール、FAX
駐車場	普通車/9台(身障者用駐車場1台含む)、大型車/1台
見学時間	約90分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	駐車スペースから館内まで段差なし、車いすの貸出、エレベーター設置

館内情報



Ainu Museums in Hokkaido

濃密な自然が残る地で出会う
アイヌ文化の源流と今の融合。

道東エリア

28 北海道立北方民族博物館

網走市



グリーンランドから北欧までアイヌ文化を含めた北方民族の文化とオホーツク文化を紹介するわが国唯一の博物館。世界各国から集めた約900点もの資料を衣・食・住などのテーマ別に展示して、北方に暮らす人たちの歴史と文化を紹介しています。

住所 〒093-0042 網走市字潮見309-1
TEL 0152-45-3888
URL <https://hoppohm.org/>

体験プログラム

- ・レクチャー(お話し)20分~1時間/定員50名以内「北方民族の暮らし」など ・ビデオ上映/定員50名以内「アイヌモン アイヌ民族の誇り」など ・体験学習(ものづくり) ウィルタの切り絵づくり、ウィルタのやじろべえづくり、イヌイトの知恵の輪づくり など 定員40名以内(各メニュー有料) オリエンテーション、レクチャー、体験学習についてはお電話でご相談ください。(詳細は、HP「団体利用」をご覧ください。)

教育活動の一環として観覧する場合は、高校生と小学校~高校の引率者は無料。解説員によるガイドは10名まで可能です。

時間(最終入場)	9:30~16:30(7~9月は9:00~17:00)
休館日(2025年度)	月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始。7~9月・2月は無休
アクセス	JR「網走駅」より観光施設めぐり線で「北方民族博物館」下車、徒歩すぐ
料金	一般550円、高校・大学生200円、中学生以下は無料 【団体】(10名以上)一般440円、高校・大学生160円、引率者は無料
団体の受入	10名以上(要事前申請)
ご利用申込方法	電話
駐車場	普通車/100台
見学時間	約40分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	授乳室、乳幼児用小型ベッド、出入口の自動ドア、点字ブロック、音声誘導装置(盲導鈴)、レバー式水栓器具、案内表示板、筆談の準備、誘導音付点滅型誘導灯

館内情報



29 網走市立郷土博物館

網走市



昭和11年(1936年)開館の博物館。郷土網走とオホーツクの豊かな「自然」、古代から現代にいたる「歴史」と「文化」について展示解説しています。この地域特有の古代文化である「オホーツク文化」を代表するモヨロ貝塚の出土資料や豊富なアイヌ文化資料のほか、博物館に隣接して史跡桂ヶ岡岩跡(チャシ)も眺めることができます。また博物館建物は、国の登録有形文化財にも登録されています。

TEL 〒093-0041 網走市桂町1丁目1番3

TEL 0152-43-3090

URL <https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/site/kyodo/1245.html>

時間(最終入場) 9:00~17:00(11月~4月は16:00)

【最終】閉館時間30分前まで

休館日(2025年度) 月曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)

アクセス JR「網走駅」より徒歩約25分、「網走バスターミナル」より徒歩約15分

料金 一般120円、高校生120円、中学生以下60円
※未就学児無料【団体】(20名以上) 一般・高校生96円、中学生以下48円

団体の受入 20名以上(要事前申請)

ご利用 申込方法 電話

駐車場 普通車/5台 ※大型車の場合は要相談

見学時間 約30分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー 一部非対応

館内情報



30 斜里町立知床博物館

斜里町



斜里町の地質から先史時代、知床半島の歴史、野生動植物の生態などを紹介しています。沖縄県竹富町の赤瓦民家や青森県弘前市のねぶたなどを展示する姉妹町友好都市交流記念館や、高山植物園を併設しています。

TEL 〒099-4113 斜里町本町49-2

TEL 0152-23-1256

URL <https://shiretoko-museum.jp.org>

体験プログラム

原則自由見学ですが、ご相談ください。

時間(最終入場) 9:00~17:00

休館日(2025年度) 4~10月:月曜(月曜が祝日の場合は開館、翌火曜日休館)、11~3月:月曜、祝日(月曜が祝日のときは休館、翌火曜も休館)、年末年始

アクセス JR「知床斜里駅」より徒歩約20分、車で約5分

料金 一般300円、高校生300円、中学生以下は無料、斜里町民は無料【団体】(15名以上) 250円、引率者は無料

団体の受入 15名以上(要事前申請)

ご利用 申込方法 電話、FAX

駐車場 普通車/25台

見学時間 約30分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー 姉妹町友好都市交流記念館のみエレベータあり、博物館本館と渡り廊下で接続、車椅子貸出可

館内情報



31 北見市ところ遺跡の森

北見市



縄文時代からアイヌ文化期までに及ぶ遺跡である国指定史跡・常呂遺跡の公開施設です。敷地内にある展示施設「ところ遺跡の館」ではアイヌ文化期を含む各時代の遺跡の出土品を展示しています。また、「ところ埋蔵文化財センター」では樺太アイヌ関連資料の展示コーナーがあります。

TEL 〒093-0216 北見市常呂町字柴浦371番地

TEL 0152-54-3393

URL <https://www.city.kitami.lg.jp/detail.php?content=8321>

体験プログラム

- ・ガイドツアー(ところ遺跡の館観覧料が必要)
- ・勾玉作り体験/130円
- ・土器作り体験/363円(完成品の送料別途)

ガイドをご希望される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。また、日程調整が必要となります。

時間(最終入場) 9:00~17:00

休館日(2025年度) 月曜・祝日の翌日(月曜・祝日の翌日が祝日にあたる場合は開館)、年末年始(12月29日~1月5日)

アクセス JR「網走駅」より車で約45分

料金 ところ遺跡の館観覧料:一般280円、高校生160円、中学生以下は無料【団体】(10名以上) 一般240円、高校生130円、引率者は一部減免制度あり

団体の受入 40名程度まで(要事前申請)

ご利用 申込方法 電話

駐車場 普通車/20台、大型車/5台※駐車無料

見学時間 約30~60分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー スロープあり

館内情報



32 美幌博物館

美幌町



美幌町やオホーツクの自然、歴史、芸術がわかる総合博物館。様々な資料を見て、ふれて、体験しながら楽しく学習することができます。

TEL 〒092-0002 美幌町字美倉253-4
TEL 0152-72-2160
URL <http://www.town.biyoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

体験プログラム

体験プログラムはホームページ内「学校の先生へ」「法人・団体利用」にてご確認ください。

ガイドをご希望される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。※令和7年3月以降にホームページアドレス変更の予定

時間(最終入場)	9:30~17:00【最終】16:30
休館日(2025年度)	月曜(祝日・休日の場合は、直後の平日)、国民の祝日の翌日、年末年始(12月30日~1月6日)
アクセス	北見方面より国道39号線を、みどり橋手前の交差点を右折し、1kmほどの山側
料金	一般300円、高校生以下無料【団体】(20名以上)240円
団体の受入	20名以上(要事前申請)
ご利用申込方法	電話
駐車場	普通車/32台
見学時間	約60分
写真・動画撮影	可能※一部撮影不可
バリアフリー	エレベーターあり



33 帯広百年記念館 アイヌ民族文化情報センターリウカ

帯広市



帯広百年記念館内にある「リウカ」はアイヌ語で「橋」の意味で、来場者とアイヌ文化との橋渡しとなるように名付けられたもの。アイヌ民族と植物や野生動物との関わりについての展示のほか、本やビデオ、音声資料などを使って学ぶことができます。

TEL 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地
TEL 0155-24-5352
URL <https://www.museum-obihoro.jp/riwka/>

体験プログラム

団体向けのプログラムはございません。

時間(最終入場)	9:00~16:30【最終】16:30
休館日(2025年度)	月曜、祝日の翌日(土日を除く)、年末年始(12月29日~1月3日)
アクセス	JR「帯広駅」より徒歩約20分
料金	無料
団体の受入	可能
ご利用申込方法	
駐車場	あり
見学時間	約15分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	対応



34 弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民族資料館

弟子屈町



弟子屈付近に住んでいたアイヌ民族の資料の収集や研究を目的としてつくられた施設。「ユーカラの森」「コタンの大地」「コタンの移り変わり」「山野を駆ける」「コタンを支える人々」の5つのテーマで、450点もの収蔵品を展示しています。

TEL 〒088-3351 弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地
TEL 015-484-2128 (FAXも同様)
URL https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi_kyoiku_bunka_sports/shakaikyoku_bunka/5/2450.html

体験プログラム

衣装試着体験(無料)、アイヌ文様切り絵体験(無料)、アイヌ文様刺繍体験(1,000円)、勾玉製作体験(700円)、映画チロンヌブカムイ イオマンテ(短縮版)上映(約)35分

時間(最終入場)	9:00~17:00【最終】16:30
休館日(2025年度)	12月1日~4月9日
アクセス	JR「摩周駅」・JR「川湯温泉駅」より車で約20分
料金	一般・高校生420円、中学生以下280円 【団体】(20名以上)一般・高校生350円 中学生以下200円、引率者は無料
団体の受入	20名以上(要事前申請)
ご利用申込方法	電話、FAX
駐車場	普通車/10台、大型車/2台
見学時間	約30分(展示資料のみ)
写真・動画撮影	可能 ※展示されている顔写真は撮影不可



35 阿寒湖アイヌシアターイコロ

釧路市



阿寒湖アイヌコタン内のシアターでは、「アイヌ古式舞踊」や「ロストカムイ」などのアイヌ民族舞踊を鑑賞できます。2024年から始まった新演目、「満月のリムセ」では、天上と地上を行き来しているキタキツネのカムイ「イレンカ」と踊り手が優しさ溢れるアイヌの世界へと誘います。

住所 〒085-0467 釧路市阿寒町阿寒湖温泉4丁目7-84

TEL 0154-67-2727

URL <https://www.akanainu.jp/about/ikoro>

体験プログラム

木彫体験・ムックリ制作／1,800円～、ムックリ講習／1,500円～
講話15分／300円・30分／600円

時間(最終入場)	古式舞踊、満月のリムセ、ロストカムイは、HP新着情報参照【最終】21:00
休館日(2025年度)	不定休、12月31日～1月2日
アクセス	「阿寒湖温泉街」より徒歩すぐ
料金	一般1,500～2,200円、中・高校生1,500～2,200円、小学生700円【団体】(30名以上)1,200～1,800円、引率者は無料(30名以上)
団体の受入	可能(体験人数によって要事前申請)
ご利用申込方法	HPのお問い合わせ、もしくは電話
駐車場	普通車／50台
見学時間	各舞踊／約30分 各体験／15分～60分
写真・動画撮影	舞踊は撮影不可
バリアフリー	
館内情報	

36 アイヌ文化伝承・創造館「オンネチセ」

釧路市



阿寒湖アイヌコタンの坂の上にあり、伝統を守りつつ新たな文化創造を重ねる阿寒湖アイヌのアートミュージアム。建物内には伝統的な祭具や生活用品なども展示され、アイヌ文化体験スペースもあります。

住所 〒085-0467 釧路市阿寒町阿寒湖温泉4-7-19

TEL 0154-67-2727

URL <https://www.akanainu.jp/onncise/>

時間(最終入場)	10:00～16:30【最終】16:00
休館日(2025年度)	5月～9月は無休、10月は土・日・祝日、11月～4月は休館
アクセス	JR「釧路駅」より車で1時間30分
料金	一般500円、中・高校生500円、小学生250円【団体】(15名以上)400円、引率者は無料
団体の受入	15名以上
ご利用申込方法	HPのお問い合わせ、もしくは電話
駐車場	普通車／50台
見学時間	約30分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	
館内情報	

37 白糠アイヌミュージアム・ポコロ

白糠町



アイヌの暮らしを再現した精巧なジオラマや、隅々までリアルに再現したチセ、伝統的な工芸品と美しい衣装、館内全体を包み込む「イオル」のサウンド・スケープ。生き活きと映し出される豊かなアイヌの暮らしを五感で感じ、厳しくとも雄大な自然と生きてきたアイヌ文化にふれることで、より理解を深めることができます。

住所 〒088-0351 白糠町和天別1852番地

TEL 01547-6-0522

URL <https://www.shiranuka-ainu.jp/pocoro/index.html>

時間(最終入場)	9:00～17:00
休館日(2025年度)	月曜、年末年始(12月29日～1月3日)
アクセス	JR「白糠駅」より車で5分
料金	無料
団体の受入	可能(要事前申請)
ご利用申込方法	電話
駐車場	普通車／25台
見学時間	約30分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	入口までスロープあり
館内情報	

館内には、アイヌコタンの暮らしを再現した60分の1スケールジオラマや、チセの再現展示、またアイヌ文様刺繍の最優秀工芸師・間宮喜代子さんの作品を展示しています。その他、様々な祭具等を展示しています。ご自由に観覧ください。

38 釧路市立博物館

釧路市



住所 〒085-0822 釧路市春湖台1-7
TEL 0154-41-5809
URL <https://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>

釧路の自然や歴史、産業、アイヌ文化について学べる総合博物館。釧路地域のアイヌ文化について、衣食住に関わる民具から信仰に関わる祭具まで、約500点の資料で幅広く紹介している。

時間(最終入場)	9:30~17:00【最終】16:30
休館日(2025年度)	月曜、月曜日が祝日の場合：4月~11月3日は開館し翌平日を振替休館、11月4日から3月の祝日、年末年始(12月29日~1月3日)、館内整理日(12月)
アクセス	JR「釧路駅」よりバスで「市立病院」下車、徒歩約5分
料金	一般480円、高校生250円、中学生以下110円
団体の受入	15名以上(要事前申請)
ご利用申込方法	博物館ホームページの申請書様式より
駐車場	あり
見学時間	約60分
写真・動画撮影	基本的には可能
バリアフリー	あり
館内情報	

ガイドをご希望される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

39 アイヌ文化活動施設 ウレシパチセ

白糠町



住所 〒088-0333 白糠町東3条北1丁目2番地27
TEL 01547-2-5668
URL <https://www.shiranuka-ainu.jp/ureshipachise.html>

「ウレシパチセ」とは「互いに育む家」を意味し、古来より大切に守り伝えられてきた歌や踊り、自然と共に生きるアイヌ传统文化の体験、異分野アーティストとの交流など、国内外へのアイヌ文化情報発信の拠点を担っています。

時間(最終入場)	10:00~18:00
休館日(2025年度)	月曜、年末年始(12月29日~1月3日)
アクセス	JR「白糠駅」より徒歩約6分
料金	無料
団体の受入	5~10名(要事前申請)
ご利用申込方法	直接お電話にてご相談、お申し込みください
駐車場	普通車/16台、大型車/2台
見学時間	約20分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	スロープあり
館内情報	

体験プログラム

白糠アイヌ協会3大まつり~8月「ふるさと祭」、9月「ファンペ祭」、11月「ししゃも祭」では、カムイノミ(火の神様への祈り)のほか、伝承儀式を行います。アイヌ刺繍、アイヌ料理教室、古式舞踏などのアイヌ传统文化の体験もできます。

40 白糠町アイヌ文化伝承空間(東山公園)

白糠町



住所 〒088-0333 白糠町東3条北1丁目2番地27
TEL 01547-2-5668(ウレシパチセ)
URL <https://www.shiranuka-ainu.jp/area.html>

アイヌの歴史・文化にゆかりがある場所「アイヌ传统文化空間」のひとつ。公園入口にあるウレシパチセとつながる、豊かな自然とチャシ跡が残るアイヌゆかりの地。アイヌ弔魂碑広場、チャシ跡の望洋の碑広場からの太平洋を一望する景観。

時間(最終入場)	
休館日(2025年度)	
アクセス	JR「白糠駅」より車で6分
料金	無料
団体の受入	
ご利用申込方法	
駐車場	普通車/10台
見学時間	
写真・動画撮影	可能
バリアフリー	
館内情報	

体験プログラム

町立自然公園の1つです。アイヌ传统文化空間をご体感ください。

41 厚岸町海事記念館

厚岸町



厚岸町の歴史、民俗、産業（特に海事に関するもの）、科学教育等に関する資料を展示しています。アイヌ民族関連では、イタオマチブ（板綴船）や厚岸かぐらで使用される道具などを展示している他、プラネタリウムでは季節ごとの星座やアイヌ民族の伝説にまつわる番組も投影しています。

TEL 〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL 0153-52-4040

URL <http://edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji/>

体験プログラム

館内の展示解説とプラネタリウム鑑賞

時間(最終入場) 9:00~17:00

休館日(2025年度) 月曜(国民の祝日に当たる日を除く)、国民の祝日の翌日(土曜、日曜に当たる日を除く)、年末年始(12月29日~1月3日)

アクセス JR「厚岸駅」より徒歩8分

料金 無料

団体の受入 可能(要事前予約)

ご利用申込方法 電話、メール

駐車場 普通車/52台、大型車/2台

見学時間 約30分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー 館入口スロープ・エレベーター・車椅子

館内情報



42 標茶町博物館ニタイ・ト

標茶町



標茶町博物館ニタイ・トは、標茶町の歴史と自然に関する資料を展示する博物館施設です。常設展示室として「標茶のアイヌ文化」があり、古くより記録の残る塘路コタンと西別コタンを中心とした、標茶町のアイヌ文化を資料と共にご紹介しています。開放的で明るい館内で、ゆったりと時間をかけてご利用頂く事をお勧めします。

TEL 〒088-2264 標茶町字塘路原野北8線58番地9

TEL 015-487-2332

URL <http://www.sip.or.jp/~shibecha-museum/>

体験プログラム

展示解説、標茶町のアイヌ文化講話、アイヌ文様切り絵クリアファイル製作体験、ムックリ作り体験(要相談)

※メニューにより有料。全て事前予約を頂いております。

時間(最終入場) 9:30~16:30【最終】16:20(要事前確認)

休館日(2025年度) 月曜(祝日の場合、翌日)、年末年始(12月29日~1月3日) 夏季間(7月1日~8月31日)は休館日無し。

アクセス 釧網本線JR「塘路駅」より徒歩約15分
道東自動車道「阿寒IC」より車で約60分

料金 一般220円、高校生以下・70歳以上・障がいのある方と付添1名は無料【団体】(20名以上)160円

団体の受入 可能

ご利用申込方法 電話、メール、FAX

駐車場 普通車/15台

※近接した場所にバス駐車可の共有駐車場有

見学時間 約40分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー 2階の常設展示室用のエレベーターあり
常設展示室は段差なし

館内情報



43 加賀家文書館(別海町郷土資料館付属施設)

別海町



幕末にノツケ(野付半島)等でアイヌ語の通訳者として活躍しアイヌとともに生き、多くの資料を残した加賀家の文書を7つのテーマで紹介する施設。江戸幕府によって野付半島先端に設置された野付通行屋と漁番屋のジオラマ、野付半島に残る遺跡なども展示しています。

TEL 〒086-0201 別海町別海宮舞町29

TEL 0153-75-2473

URL <https://betsukai.jp/kyoiku/kyoudo/about/kagakemonziyokangoannai/>

体験プログラム

ミニ講座「アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵物語」

時間(最終入場) 9:00~17:00【最終】16:30

休館日(2025年度) 毎月第2・4月曜、毎月第1・3・5日曜、土曜(第2・4は除く)、祝日、年末年始(12月29日~1月6日)

アクセス 「別海町交流館」より徒歩約15分

料金 一般350円、高校生以下無料【団体】(10名以上)280円、引率者280円

団体の受入 10名以上(要事前申請)

ご利用申込方法 電話

駐車場 普通車/15台、大型車/2台

見学時間 約40分

写真・動画撮影 可能

バリアフリー 対応

館内情報



44 ポー川史跡自然公園（歴史民俗資料館）

標津町



史跡標津遺跡群と天然記念物標津湿原の調査成果と、近世以降の標津町の歴史について紹介している展示施設。伊茶仁カリカリウス遺跡見学のガイド施設も兼ねている。遺跡は、国指定史跡の伊茶仁カリカリウス遺跡、古道遺跡、三本木遺跡と、伊茶仁川沿いに残された国指定級の遺跡群で構成。標津遺跡群の最大の特徴は、数千年以上前の竪穴住居跡が窺みとして確認でき、しかもその数が日本最大の規模を誇ることです。

住所 〒086-1602 標津町字伊茶仁2784番地
TEL 0153-82-3674
URL https://www.shibetsutown.jp/shisetsu/art_culture/po_river/

体験プログラム

体験プログラムや見学の際に案内が必要な場合、南知床標津町観光協会（TEL：0153-85-7226）へお申し込みください。（別途料金についてはお問い合わせください。）

ガイドは資料館のみ、外国語対応となります。（ユニボイス）

時間（最終入場）	9:00～17:00【最終】16:30 ※時季で異なります（要事前確認）
休館日（2025年度）	11月24日～4月28日
アクセス	「標津バスターミナル」よりバスで5分、 「根室中標津空港」より車で約30分
料金	一般330円、高校生110円、中学生以下は無料 【団体】（20名以上）160円、引率者160円
団体の受入 ご利用 申込方法	20名以上（要事前申請） 来園のみ：公園事務所へ電話連絡 ※案内付き見学・体験プログラムは左記を参照
駐車場	普通車/30台、大型車/4台
見学時間	約30～120分
写真・動画撮影	可能
バリアフリー 館内情報	



45 羅臼町郷土資料館

羅臼町



縄文時代から近世までの知床羅臼の歴史や自然を概観できる資料館。重要文化財展示室に展示されている北海道松法川北岸遺跡出土品から、オホーツク文化がアイヌ文化に影響を与えたことがうかがえます。

住所 〒086-1751 羅臼町峯浜町307-1
TEL 0153-88-3850
URL <https://www.rausu-town.jp/pages/view/179>

体験プログラム

展示解説

ガイドをご希望される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

時間（最終入場）	9:00～17:00【最終】16:50
休館日（2025年度）	土曜、日曜、祝日、年末年始 ※7月～9月中旬は無休
アクセス	「羅臼市街地」より車で約25分
料金	無料
団体の受入 ご利用 申込方法	可能（要事前申請） 電話、メール
駐車場	普通車/15台、大型車/2台
見学時間	約60分
写真・動画撮影	可能（要申請）
バリアフリー	1Fスロープあり （2Fは階段昇降機やエレベーターなし）
館内情報	



アイヌ文化 自然を敬い、共に生きる

自然、道具、あらゆるものに「神」が宿る



アイヌの人々は、この世のあらゆるものに魂が宿ると考えていました。なかでも、動植物など人間に自然の恵みを与えてくれるもの、火や水、生活の道具など暮らしに欠かさないもの、天候や地震、流行病など人間の力が及ばないものを「神（カムイ）」として敬い、事あるごとに祈りを捧げ、感謝をしながら暮らしてきました。

今こそ学びたい、サステナブルな食への考え



食べ物は、海沿いでは海のもの、内陸では山のものというように、地域により違いはありますが、自然に食糧を求め、「煮る」「焼く」「炊く」などの方法で調理しました。狩猟や漁、採取にあたっては、一度に取り尽くさず、必要な時に必要な分だけを取り、他の動物のため、翌年のためを考え、自然と共生するスタイルを守りました。